

「鴻門の会」テスト問題 〈第二段落〉後半

【三】本文について、設問に答えよ。

噲遂入、披帷西嚮立、瞋目視項王。①頭髮上指、目眦尽裂。項王按劍而跽曰、「客何為者。」張良曰、「沛公之參乘樊噲者也。」

項王曰、「壯士。賜之卮酒。」

則与斗卮酒。噲拜謝起、立而飲②之。

項王曰、「賜之彘肩。」

則与一生彘肩。樊噲覆其盾於地、加彘肩上拔劍切而啗之。

項王曰、「壯士。能復飲乎。」

樊噲曰、「③臣死且不避。卮酒安足辭。夫④秦王有虎狼之心。殺人如不能舉、刑人如恐不勝。天下皆叛之。懷王与諸將約曰、『先破秦入咸陽者、王之。』今沛公、先破秦入咸陽、毫毛不敢有所近。封閉宮室、還軍霸上、以待⑤大王来。故遣將守關者、備他盜出入与非常也。劳苦而功高如此、未有封侯之賞。而聽細說、欲誅有功之人。⑥此亡秦之續耳。窃為大王不取也。」項王⑦未有以応。曰、「坐。」

樊噲從良坐。坐須臾、沛公起如廁。因招樊噲出。

問一 次の漢字の読みを、ひらがな（現代仮名遣い）で答えよ。

① 遂 ② 卮酒 ③ 須臾

問二 傍線部①とあるが、ここにはどのような心情が込められているか。最も適切なものを選び、記号で答えよ。

ア 軽蔑 イ 恐怖 ウ 悔り エ 怒り

問三 傍線部②は何を指すか。本文から抜き出せ。

問四 傍線部③とあるが、

(1) 「卮酒安足辭」を、すべてひらがなで書き下し文にせよ。

(2) 解釈として、最も適切なものは次のうちどれか。

ア 自分は死ぬことさえも避けられないというのに、まして「卮酒」をどうして辞退しましょうか。いや、辞退しません。

イ 自分は死ぬことが回避できないとすれば、「卮酒」を飲むことは取るに足りないということでしょうか。いや、いや、そうではありません。

ウ 自分は死んで天国に行った後でも、「卮酒」をたらふく飲むことができるのでしょうか。いや、飲むことはできません。

エ 自分は死ぬことをめないとすれば、「卮酒」を飲むことは不可能になってしまうのでしょうか。いや、そんなことはありません。